

政務活動費収支報告書

令和7年3月31日

富士宮市議会議長 諏訪部 孝敏 様

会派名称 無会派

代表者氏名 仲亀恭平

令和6年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入  
政務活動費 300,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	0	
会議費	132,708	研修会・講演会等の参加費
事務費	1,876	消耗品購入
調査旅費	164,315	先進地行政視察
その他経費	0	
合計	298,899	

3 残額 1,101 円



令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
4	1	政務活動費	政務活動費1人分 仲亀恭平)	300,000		300,000
5	21	会議費	第16回 2024年日本自治創造学会 研究大会に参加するための旅費		31,580	268,420
5	30	会議費	第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための参加費		15,000	253,420
8	28	調査旅費	①北海道江別市②北海道虻田郡厚真町③北海道札幌 市④北海道雨竜郡妹背牛町 ①~④への行政視察のための旅費		107,115	146,305
11	22	会議費	勉強会会場使用料 地域医療 勉強会)		34	146,271
12	10	会議費	講師交通費 地域医療勉強 会)		711	145,560
12	10	会議費	講師謝礼 地域医療勉強会)		875	144,685
12	10	会議費	勉強会プロジェクター使用料 地域医療勉強会)		68	144,617
12	18	調査旅費	①社会福祉法人赤羽北さくら荘及び赤羽北のぞみ保育 園②宇都宮ライトレール事業③港区子ども家庭支援セン ター④衆議院第一議員会館 ①~④への行政視察にかかる旅費		57,200	87,417
1	14	事務費	文具用品代		477	86,940
1	17	事務費	文具用品代		356	86,584
1	30	事務費	文具用品代		1,043	85,541
2	28	会議費	日本臨床工学技士連盟主催のセミ ナーに参加するための交通費。		11,780	73,761
3	25	会議費	地方議員研究会主催 3/25) の研修会受講料		30,000	43,761
3	25	会議費	地方議員研究会主催 3/26 日)の研修会受講料		15,000	28,761
3	25	会議費	地方議員研究会主催の研修 会への旅費		13,830	14,931
3	26	会議費	地方議員研究会主催の研修 会への旅費		13,830	1,101
			合 計	300,000	298,899	1,101

収入金額 300,000 円

支出金額 298,899 円

差引残額 1,101 円

令和6年度 無会派（仲亀恭平） 年間計画

令和 6年 4月 1日

無会派 代表者 仲亀恭平

会 計 仲亀恭平

1, 先進地視察

- ①福祉一般（重層的支援事業・高齢者福祉・子育て）
- ②環境（再資源化・高齢者のゴミ出し・収集の在り方・排水処理）
- ③防災・減災
- ④都市計画（まちづくり・土地利用）
- ⑤教育（不登校問題・図書館運営）

2, 研修会

- ①議員研修・セミナー等への参加
- ②各種学会主催の講演会への参加
- ③その他

3, 資料購入

- ①議員活動関連書籍の購入
- ②自治体情報月刊誌の購入
- ③市内地図等の購入
- ④その他

4, 事務用品購入

- ①筆記用具・文具全般
- ②その他

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第16号の2  
令和6年4月1日

仲亀 恭平 様

富士宮市長 須藤 秀 足

令和6年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、下記のとおり決定したので通知します。

記

令和6年度交付決定額 30万円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	300,000 円
内 容	政務活動費 1人分 仲亀恭平
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和6年 4 月 1 日
摘 要	

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 6 年 5 月 21 日	決 裁	令和 6 年 5 月 21 日
所 属	氏 名		備 考
1	無会派 仲亀恭平		
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都千代田区	東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール	第16回 2024年日本自治創造学会研究大会	
研 修 目 的			
自治体改革や議会改革についての講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
東京都台東区浅草橋	令和6年 年 5 月 30 日	令和6年 年 5 月 31 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	15,000 円
内 容	第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための参加費
目 的	自治体改革や議会改革についての講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。
支 出 先	一般財団法人 日本自治創造学会
支 払 年 月 日	令和 6 年 5 月 30 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平 一名	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

仲亀恭平 様

No. 

金額

715000

但


第16回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2024年 5月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

一般財団法人  
日本自治創造  
理事長 穂坂 邦  
東京都千代田区神田佐久間町 

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	31,580 円
内 容	第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための旅費
目 的	自治体改革や議会改革についての講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。
支 出 先	仲亀恭平
支 払 年 月 日	令和6 年 5 月 21 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平 一名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

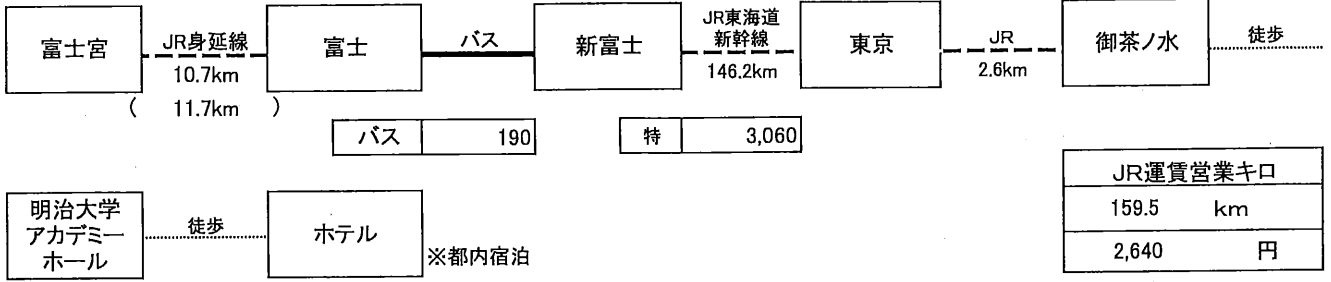
旅費計算書(政務活動費)

無会派  
(仲尾議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 5 月 30 日 (木)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

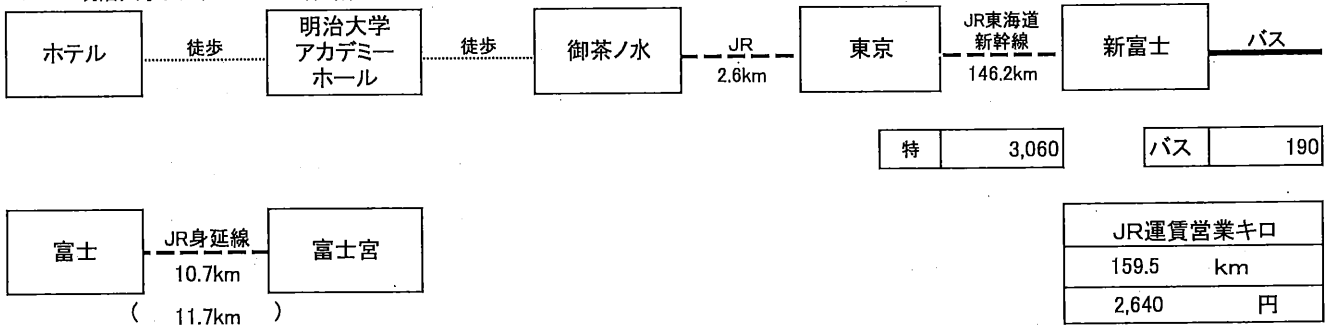
明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



● 2 日 目 : 令 和 6 年 5 月 31 日 (金)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



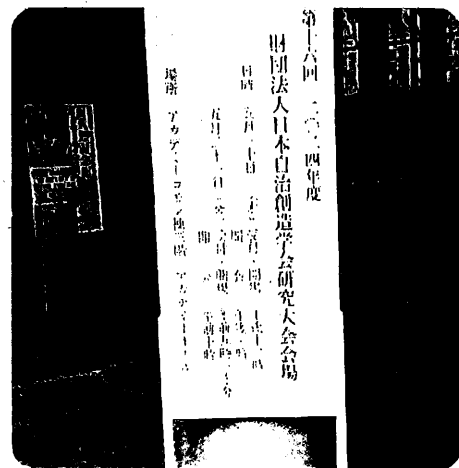
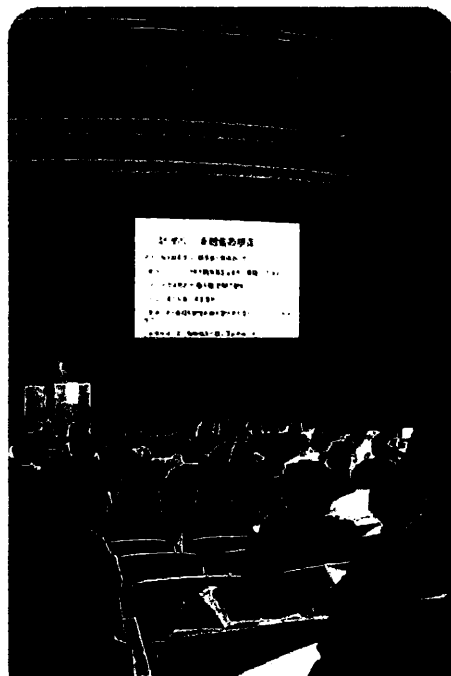
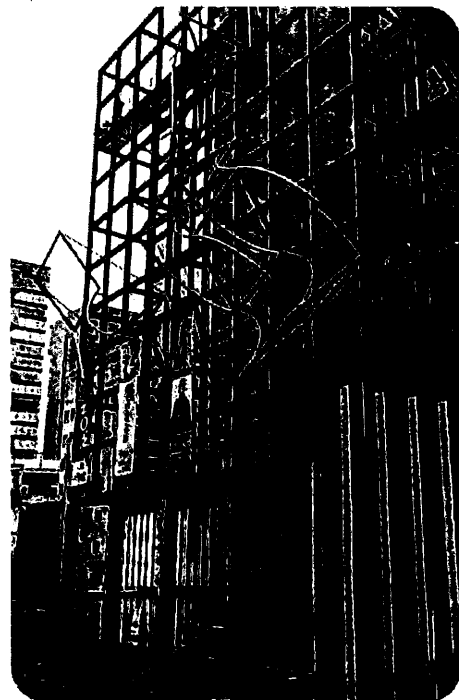
鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,780 円	×	1 人	=	11,780 円		
	私 鉄	円								
特 急 料 金	通 常	6,120 円	日 当	1,650 円	×	2 日	×	1 人	=	3,300 円
	閑 散	円								
	繁 忙	円								
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円	×	1 夜	×	1 人	=	16,500 円
船 賃		円								
車 賃 ( バ ス )		380 円								
1人往復運賃合計 A		11,780 円	旅費合計	31,580 円/人	×	1 人	=	31,580 円		

# 研修報告書

会派名 無会派

研 年 月 日	令和6年5月30日(木)～ 令和6年5月31日(金)
研 修 名	研究大会：第16回2024年度 日本自治創造学会 大会会場：明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
参 加 者	仲亀恭平
研 修 内 容	<b>01 第16回日本自治創造学会研究大会プログラム</b> ●大会挨拶 穂坂邦夫(日本自治創造学会理事長)  ●講演 【新たな地方議会をつくる】 講演①：新たな地方議会の創造“議会からの発信” 「住民自治の根幹」としての議会の作動  江藤俊昭(大正大学地域創生学部教授)  【発想を変えた自治体づくり】 講演①：賢く収縮するまちづくり  青野高陽(岡山県美咲町長)  【デジタルで地方を変える】 講演①：デジタル導入の価値を考える  河野太郎(デジタル大臣・衆議院議員)  【義務教育の最重要課題】 講演①：今、求められる子どもの自殺予防  新井肇(関西外国語大学外国語農授・文科省いじめ防止対策協議 会座長)  ●閉会挨拶 牛山 久仁彦(日本自治創造学会理事・明治大学教授)

# 02 研修ハイライト



# 03 内容

## 講演：新たな地方議会の創造“議会からの発信”

江藤俊昭

### 背景

- 政治の台頭(地方分権改革と地方財政危機)
- 政務活動費支給の制度改革:研修等の充実
- ネットワーク：マニフェスト大賞、議会改革ランキング、全国町村議会特別表彰、議会 改革白書刊行、地域のネットワーク

### 議会改革の到達点と今後の課題

- 到達点(機関競争主義の作動(人格を持った議会：岡本光雄)：形式改革(議会基本条例)から実質改革(議会からの政策サイクル)
- 議会からの政策サイクルを進める課題
- 新たな議会の方向とその背景

### 議会が取り組むべきこと

- なり手不足問題の検証組織の立ち上げ
- 様々な広報ツールを駆使し老若男女を問わず情報を届ける
- 議会から住民の生活圏に出向き交流する機会を増やす
- 政策サポーター・議会モニター等を通じた議会の「応援団」の形成
- 多様な人材が議員になるための「環境整備(デジタル化、バリアフリー化等)
- なり手向け講座による立候補検討者の後押し
- なり手不足問題を広報紙等で住民に訴えて危機感を共有する
- 主権者教育の推進・強化(子ども議会、出前講座等)等
- ハラスメント対策の徹底
- 女性模擬議会の開催
- 政策サポーター・議会モニターに女性を積極的に任命
- 保育施設や授乳室の設置等

### 二元的代表制の活性化へ

- 議会事務局体制等の整備・強化
- 低額な議員報酬の改善
- 特別職報酬等審議会委員へ議会の実情に明るい人物を登用
- 執行部が実施する主権者教育における議会との連携
- 議会に対して意見交換・懇談会の場を働きかける(自治会等)
- 立候補に係る休暇 制度をはじめとした各種規定の整備(企業)等

●女性の政治参画等を促進するシンポジウムの開催

市町村議会の充実へ ～都道府県が取り組むべきこと～

- なり手不足対策に取り組む市町村議会に対する財政支援等
- 議会を含む市町村全体のデジタル化支援に資する人材派遣等
- 女性議員ネットワークに対する支援
- ハラスメントに関する相談窓口の開設

市町村議会の充実へ ～国が取り組むべきこと～

- 議会が取り組むなり手不足対策への財政支援等
- 住民の政治参画推進に係る優良団体表彰制度の創設
- 議員への立候補や議会・議員活動に利用できる休暇・休職・兼業制度等の整備
- 公務員の立候補制限や他の自治体職員との兼職禁止の緩和
- 厚生年金加入のための法整備の検討
- 議会が行う主権者教育に対する支援
- 手当制度の拡充
- 被選挙権年齢の引き下げ等
- 議会の取組に対する財政支援
- 女性議員ロールモデル実例集
- 女性の地方移住の促進

## 講演：賢く収縮するまちづくり

青野高陽

美咲町について

- 美咲町は、旧旭町、旧中央町、旧柵原町の3町が平成17年3月22日合併して誕生した。
- 現在、人口は約13,000人で、町全体の約7割が森林である中山間地域。
- 岡山県の3大河川のうち旭川と吉井川が流れている。
- 美咲町は、JR津山線が通っていますが公共交通機関に乏しく、住民生活の足は車で、道路は住民生活を根底で支える重要なインフラとなっている。
- 主産業の農業は、稲作のほかブドウの生産が盛んで、令和5年度のブドウの生産額は5億円を超えた。令和3年の美咲町の農業生産額は108億円で県内5位、過去5年間で農業生産額が30%増加しており、増加率では県内4位となっている。

行政改革への取り組み

美咲町では、地方交付税の額が合併直後から比べると、約10億円減っており、今後、財源不足が一段と進み、町民への行政サービスに影響が及ぶことが予測される。貴重な財源を行政需要に的確かつ効率よく対応するためには、

時代に合っていないものはないか、むだな使い方になっていないか、非効率になっているものはないか、役場の組織は住民ニーズに対応できているのかなど見直す必要があると考えた。

●多世代交流拠点施設

・分散している町役場、公民館、図書館、保健センター、物産センターの5施設を集約した多世代交流拠点施設を中央地域に整備。(愛称: みさキラリ)旧旭小学校を活用して多世代交流拠点施設を整備。

・拠点施設には、旭総合支所、多目的ホール(体育館)、岸田吟香記念館、図書館、こどもの居場所、西川診療所が入居予定。

●公有財産マネジメント(公共施設の維持管理等)の推進

美咲町は、平成17年3月22日、旧旭町、旧中央町、旧柵原町が合併して誕生している。旧3町それぞれが、住民福祉の向上のため公民館や図書館、コミュニティハウスなど積極的に整備していた経緯がある。しかし、合併後施設の集約化などをしておらず、人口減少等により有効に活用されておらず、老朽化した施設が多く存在する。美咲町にある公共施設の床面積は109,099㎡(H28公共施設等総合管理計画策定時)、1人あたり約7.19㎡であり、全国平均(3.42㎡)の2倍以上ある計算。

これら公共施設を維持・管理するために、過去20年間の平均で年間6.1億円の経費を使っている。

今後40年間の更新費用等の平均は年間11.3億円が必要との試算があり、この年平均費用の差額5.2億円を縮減しないと、美咲町の財政が破綻する可能性がある。従って、あまり使われていない施設や同じような施設は統合するか、解体せざるを得ない状況。

【公共施設等総合管理計画策定以降解体を行った施設等】

・解体施設 : クリーンセンター

町有住宅

幼稚園

診療所

・廃止施設 : 香花温泉「ほほえみの湯」

・集約化施設 : 多世代交流拠点施設等新設(約17,000㎡)

新設に伴う除却(約33,000㎡)約16,000㎡削減予定

町有地売却 : グラウンド等約49,000㎡(約8,000万円)

山林約9,000㎡(約270万円)

施設カルテ

今後、公共施設をどのように維持管理していくのか検討するためには、まずはそれぞれの施設がどのような状況にあるのか、正確に把握する必要がある。そこで、本町では施設ごとに情報を整理し、客観的に施設の状況がわかるよ

う 86 施設(187 棟)について、施設カルテの作成を実施した。

●施設カルテの内容

- ・基本情報(所在地、床面積、設置年数、運営形態、避難所指定状況など)
- ・建物・設備情報(構造や耐用年数など点検調査による評価状況)
- ・施設サービスの状況(利用者数や稼働率、バリアフリーの状況)
- ・財務情報(年間収入および支出状況、1人当たり及び床面積1㎡当たりのコスト)
- ・施設を構成する建物情報

●施設再配置等の考え方

- ・地域ごとの適正配置(施設の統廃合等が一定の地域に集中し、著しい利便性の低下を招かないよう、地域ごとに施設の適正配置を検討する。)
- ・施設の集約化、複合化(施設などの機能を維持しつつ、施設の量の縮減等を検討する。)
- ・施設の廃止、民間等への売却(利用者数や稼働率の少ない施設は、施設の再編や廃止を検討する。また、サウンディング調査等により民間等への売却を検討する。)

## 講演：デジタル導入の価値を考える

河野太郎

- マイナンバーカードを持っているという前提で、行政や民間のサービスを組み立てることができれば、さまざまな作業を自動化することで、コストを下げる事が可能である。
- カードを乳幼児健診などの問診票・受診券としても利用できるようにする取り組みを進めていく。
- 乳幼児健診・妊婦検診あるいは予防接種についてマイナンバーカードを利用することで紙を持参しなくて済むような取り組みを進めていく。
- 健康保険証機能のスマートフォン搭載について。
  - ・マイナンバーカード機能の iPhone への搭載以降、速やかに一部医療機関で開始していく。
  - ・マイナ保険証機能をスマートフォンでも利用可能とすることで、物理的なマイナンバーカードを持ち歩かなくても保険診療を受けられるようにする。
- 各種国家資格証や運転免許証のマイナンバーカードへの搭載を進めていく。
- デジタル技術の活用や業務そのものの見直しによって国会業務の効率化に引き続き取り組んでいきたい。

# 講演：今、求められる子どもの自殺予防

新井肇

## 現状

●令和5年の小中高生の自殺者数は513人であり、前年と比べ1人の減少となった。

小学生は13人（4人減）、中学生は153人（10人増）、高校生は347人（7人減）であった。

	令和4年度（人）	令和5年度（人）	前年差（人）
小学生	17	13	-1
中学生	143	153	-4
高校生	354	347	10
総数	514	513	-7

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

●自殺率国際比較（G7）：死因の第1が自殺となっている先進国（G7）は日本のみ。

## 学校を安全・安心な場にするためには

- 多様性に配慮し、均質化のみに走らない学校づくりをめざす。
- 児童生徒の間で、それぞれのよいところを認め合う。
- 「どうせ自分なんて」と思わない自己信頼感を育む。
- 同調圧力を緩める。
- 「適切な援助希求」弱音を吐いても大丈夫を促す。

## 安全・安心な学校環境づくり

- 学校に相談しやすい雰囲気を作り、児童生徒が相談できる力を身につける。
- 一人で抱え込まずに、信頼できる大人に相談する。
- 「話す」ことは、心の負担を「放つ」（はなす）こと。
- 複数の視点をもつことで、新たな気づきが生まれる。

## チームで進める自殺予防

- 学校内外の連携に基づく協働的指導・相談体制。
  - 自殺など、深刻な危機に関する問題は、「専門家といえども一人で抱えることができない」と言われる。
  - 学校においては、自殺の危険が高まった児童生徒を一人の教職員だけで支えるのではなく、チームとして支える体制をつくる。
  - 校外においても関係機関と児童生徒を支えるうえで適切な協力体制を築く。
- 学校と保護者・関係機関との連携

- 教師と保護者、地域・関係機関が子どもをめぐって協力し合う「パートナー」としての関係を築く。
- 教師は教育の専門家。保護者は親という固有の立場からわが子と真剣に向き合う子育ての専門性をもった存在。地域・関係機関は固有の専門性や役割をもつ社会資源。相互に尊重し合うことが大切である。
- 子どもの問題をめぐって、教師と保護者・地域・関係機関が目標を一致させるように努める。
- 子どもの危機は社会の問題という認識を共有する。

#### 心のケアのための校内体制の整備

##### ●ケア会議

<メンバー>

- ・養護教諭
- ・教育相談担当者
- ・スクールカウンセラー
- ・学年主任
- ・関係する担任
- ・部活動顧問

##### 【心のケアにおける留意点】

- ・「ケア会議」では配慮の必要な子どもを中心に全体の把握につとめる。  
(発生直後は1日1回以上開催する。)
- ・相談やカウンセリングの態勢をつくる。
- ・専門家の協力が得られる場合には、早期からサポートを受ける。
- ・教職員同士が自分の気持ちを互いに分かち合い、バーンアウトしないように注意する。

# 視 察 申 請 書

		予算項目	調 査 旅 費
起 案	令和 6 年 9 月 1 日	決 裁	6 年 9 月 1 日
所 属	氏 名		備 考
1	無会派	仲亀恭平	
2			
3			
4			
5			
視察市町村	視 察 先		目 的
北海道江別市	株式会社 Kalm角山		家畜ふん尿を利用したバイオマス発電の現地視察
北海道勇払郡厚真町	北海道電力厚真発電所		水素製造装置導入の経緯と実績を伺う
北海道札幌市	札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 企画課		北海道と札幌市の連携による人口減少対策共同プログラムについて経緯と事業効果を伺う
北海道雨竜群妹背牛町	妹背牛町「子育て世代交流施設 from☆Moko」		空き家対策事業を活用した子育て世代交流施設運営の現地視察
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
北海道札幌市		令和 6 年 9 月 2 日	令和 6 年 9 月 4 日

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	107,115 円
内 容	①北海道江別市 ②北海道勇払郡厚真町 ③北海道札幌市 ④北海道雨竜群妹背牛町                    への行政視察のための旅費
目 的	①カーム角山:家畜ふん尿を利用したバイオマス発電 ②北海道電力厚真発電所:水素製造装置導入の経緯・実績 ③道と市の連携による人口減少対策共同プログラム ④空き家対策事業を活用した子育て世代交流施設運営
支 出 先	仲亀恭平
支払年月日	令和6 年      8 月      28 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平 一名	

— 領収書等貼付欄 —

## 領 収 証

市議会議員 仲亀恭平様
令和6年8月28日

金額		¥	57	/	25
----	--	---	----	---	----

但し、この旅行代金として ①往復航空代金 5,500円 × 1  
 上記の金額正に領収いたしました。 ②レンタカー代 1,000円 × 1  
6,500円 × 1

株式会社 ふじ観光プラ  
 代表取締役 橋本武洋  
 〒418-0001 静岡県富士宮市万野原  
 TEL.0541-26-6755

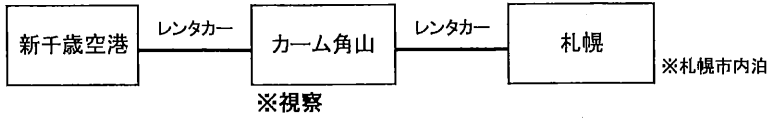
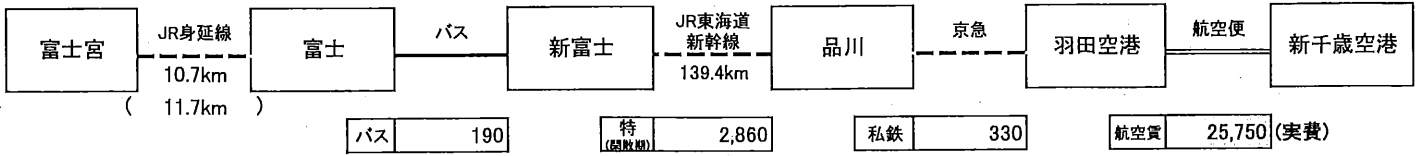
T1080101012027

# 旅費計算書(政務活動費)

無会派  
(仲尾議員)

● 1日目：令和6年9月2日(月) 閑散期

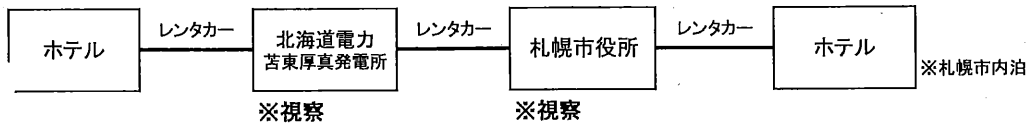
【視察】カーム角山(北海道江別市角山491番地)



JR運賃営業キロ	
150.1	Km
2,640	円
レンタカー (3日間)	5,625円※
※22,500円(実費) 4人で案分	

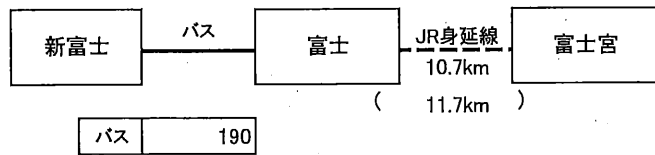
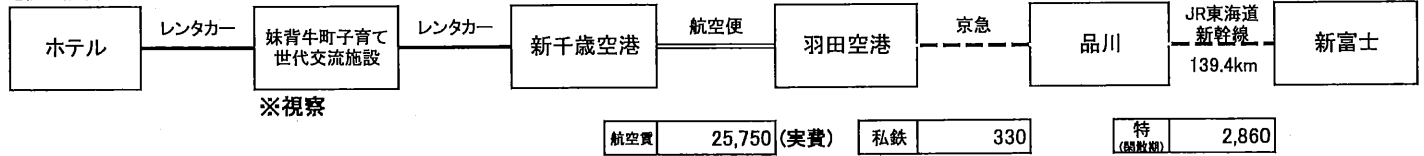
● 2日目：令和6年9月3日(火)

【視察】北海道電力苫東厚真発電所(北海道勇払郡厚真町字浜厚真615番地)、札幌市役所(北海道札幌市中央区北1条西2丁目)



● 3日目：令和6年9月4日(水) 閑散期

【視察】妹背牛町子育て世代交流施設from☆Moko(北海道雨竜郡妹背牛町1区3町内)





JR運賃営業キロ	
150.1	Km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280	円	運賃 A	69,165	円	×	1	人 =	69,165	円		
	私鉄	660	円		日当	1,650				円 ×	3	日 ×	1
特急料金	通常		円	宿泊料		16,500	円 ×	2	夜 ×	1	人 =	33,000	円
	閑散	5,720	円			旅費合計	107,115	円/人 ×	1	人 =	107,115	円	
	繁忙		円				航空運賃	料金	51,500	円			
車賃(レンタカー)※按分		5,625	円	車賃(バス)	380	円							
1人往復運賃合計 A		69,165	円										

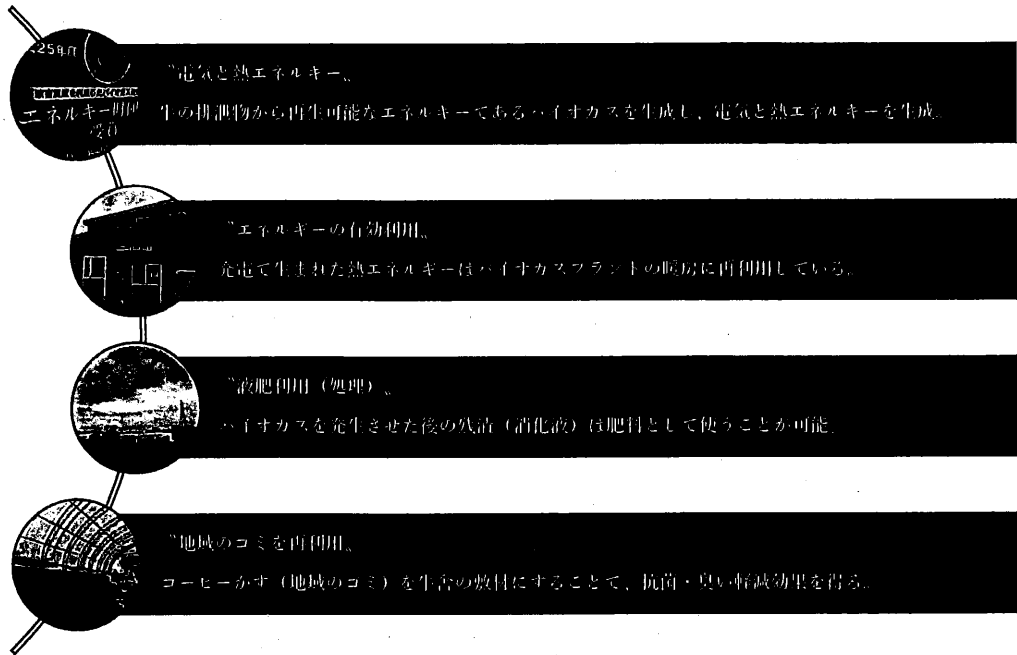
# 視察報告書

会派名

無会派

視察年月日	令和6年9月2日(月)
視察先	株式会社 Kalm 角山
参加者	仲亀恭平
視察内容	<p><b>01 視察先の概要</b></p> <p>会社名 株式会社 Kalm 角山 <u>江別市角山の酪農企業(株)カーム角山</u></p> <p>所在地 〒067-0052 北海道江別市角山 491 番地</p> <p>TEL 011-378-6858</p> <p>FAX 011-378-6778</p>  <p><b>02 視察の目的</b></p> <p>牛の排泄物を活用してバイオガスプラントで発電をし、産地地消のエネルギーを生み出す Kalm 角山。</p> <p>牛舎内の実際の糞尿処理はどのような工程を経ているのか？</p> <p>循環型の糞尿処理施設や作業スタッフの仕事内容を見ていき、エネルギー化までの流れを確認していく。</p> 

### 03 循環型農業の実現



### 04 視察から得られた学び

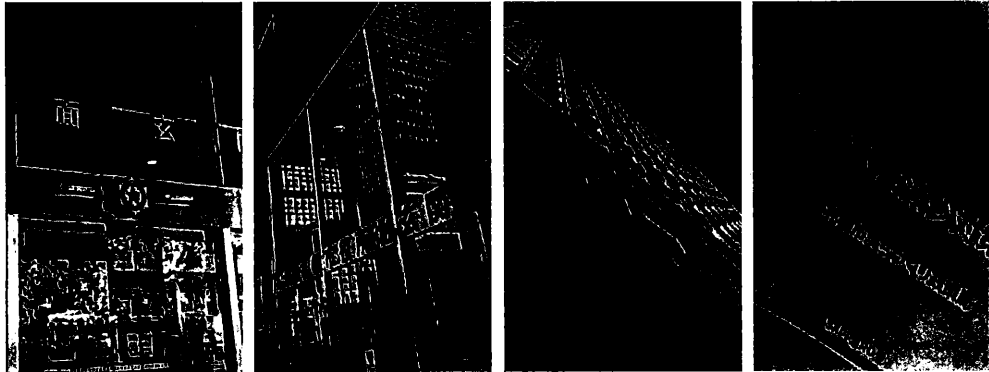
(株)カーム社は、AIにて牛の健康管理を行い、約520頭の経産牛を飼育し、搾乳を行っている。

さらに糞尿に至ってもAIにて管理し、バイオガスプラントに送り込み、発酵しガス化させている。ガス化された再生可能エネルギーを用いて発電機を駆動させ、自農場の電気を賄い余剰電力は系統連系にて売電。

また、CO2排出量をほぼ100%抑えることができる。

糞尿をただの肥料としてのみ循環するだけでなく、そこに「電力」や「地域資源の再利用」といった付加価値をつけてサイクルを回していくことは、他の再生可能エネルギーにはない、循環型農業の実現である。

# 視察報告書

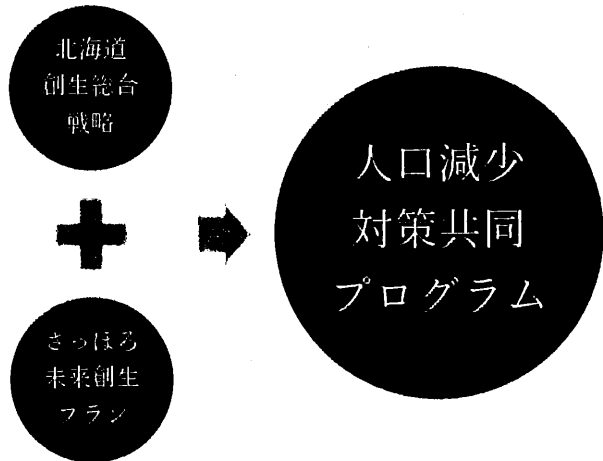
		会派名	無会派
視察年月日	令和6年9月3日(火)		
視察先	札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 企画課		
参加者	仲亀恭平		
視察内容	<p><b>01 視察先の概要</b></p> <p>札幌市は北海道の道庁所在地であり、人口1,968,338人 / 世帯数1,003,859世帯（令和6年9月1日現在）道内一の人口を誇る。 ビールやスキー場に加え、巨大な雪や氷の彫刻が呼び物の毎年恒例のさっぽろ雪まつりで有名である。</p>  <p><b>02 視察の目的</b></p> <p>子ども応援社会の実現や、女性活躍の推進に加え、北海道の魅力やポテンシャルを生かし、国内外から人を呼び込み、人口減少対策に向け、北海道と札幌市が一層連携を深め、北海道全体の創生に向けて共同で各施策を推進している。</p> <p>「北海道と札幌市の連携共同プログラム」について、札幌市まちづくり政務局様から事業の経緯や担当者の思いなどを、伺う。</p>		

### 03 これまでの経緯

平成 26 年	「北海道と札幌市の連携による人口減少問題対策協議会」を設置。合計特殊出生率の向上について意見交換、情報共有を実施。
平成 29 年	「北海道・札幌市行政懇談会」において、道市の更なる連携を目指して「人口減少 対策共同プログラム」を検討・実施することが市長と知事の間で合意。 第 1 期「人口減少対策共同プログラム」を策定。
令和元年	第 2 期「人口減少対策共同プログラム (2020～2024)」を策定。
令和 6 年	現在、第 3 期プログラムの策定に向けて北海道と協議中。

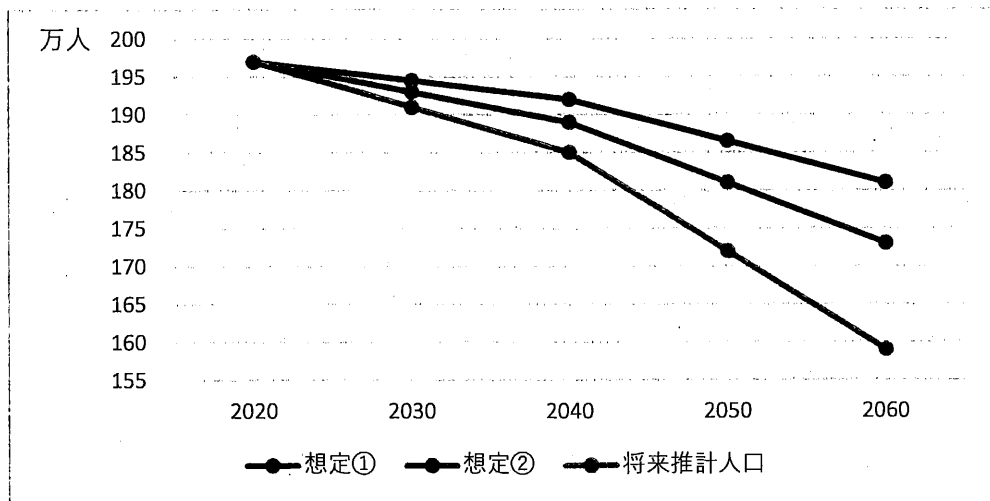
### 04 実施状況について

北海道と札幌市の連携を総合戦略へ位置付けし「人口減少対策共同プログラム」として実施・継続・拡充をしていく。



子育て環境	北海道結婚・妊娠・出産・育児総合ポータルサイト『ハグコム』において、札幌市を含む道内市町村の子育て支援の取組や窓口を発信。
首都圏等→移住	北海道ふるさと移住定住推進センター（東京：どさんこ交流テラス）による相談及び移住関連イベントや道内市町村の PR 等を実施。
UI ターン 若者の地元定着	北海道が有するインターンシップ受入企業情報を HP 上で公開している他、首都圏等の学生にジョブカフェ北海道において開催するオンラインインターンシップ説明会を周知。
調査・分析	人口移動に関する独自調査の分析結果など双方が持つ各種データ等の相互共有を進める。

## 05 今後の戦略



自然増加

将来推計人口通りに進むと2060年には40万人程度減少する可能性がある。人口減少の緩和の取組の推進により、合計特殊出生率が上昇すると仮定した想定①と想定②のグラフのように、人口減少の幅を圧縮することを目指す。

社会増加

札幌市への人口集中に配慮しながら、北海道外の方を中心に人を積極的に呼び込むことで、札幌市、札幌圏、ひいては北海道全体の人口減少の緩和に寄与する。

次期プランでは、自然増加と社会増加の両面から人口減少をより緩やかにすべく、「質の高い雇用創出」「魅力的な都市づくり」「結婚・出産・子育てを支える環境づくり」「若い世代に向けたアプローチの強化」など人口減少の緩和に向けた取組を推進していく。

## 06 視察から得られた学び




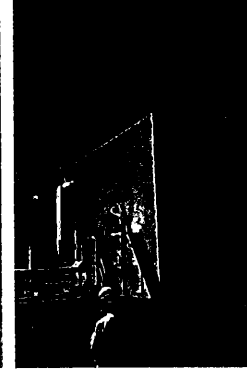

一定程度の人口減少は避けられない前提のもと、市民が満足する行政サービスを持続的に提供することが重要である。

そのためには、北海道及び札幌市が同じ目的に対して、「人口減少対策共同プログラム」に基づき、互いの取組を情報共有・役割分担の下、北海道の人口減少問題の対策に取り組むこと。

担当職員からは、

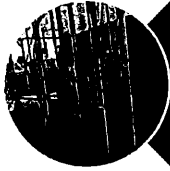
「札幌市が衰退すること＝北海道が衰退すること」と強い危機感と使命感を感じた。

# 視察報告書

		会派名	無会派
視察年月日	令和6年9月3日(火)		
視察先	北海道電力(株)苫東厚真発電所		
参加者	仲亀恭平		
視察内容	<p><b>01 視察先の概要</b></p> <p>北海道電力(株)苫東厚真発電所 北海道勇払郡厚真町浜厚真 615</p> <p>市街地から…車で約 30 分 上厚真市街地から…車で約 15 分</p>  <p><b>02 視察の目的</b></p> <p>北海道電力(株)苫東厚真発電所では、経済産業省資源エネルギー庁の補助事業である「令和3年度補正予算再生可能エネルギー導入加速化に向けた系統用蓄電池等導入支援事業」の採択を受け、発電所の隣接地に、水を水素と酸素に電気分解する水電解装置を導入している。</p> <p>次世代のエネルギーとして期待される水素。</p> <p>水電解に必要な各種設備を見学させていただくと共に、システムの運用や保守管理から水素製造・利活用のポテンシャルについて伺う。</p>    		

### 03 水素製造設備の概要

所在地	北海道苫小牧市字弁天1番17(苫東厚真発電所隣接地)
導入設備	1MW級水電解装置(水素発生量200Nm <sup>3</sup> /h)、水素出荷設備他
運用開始	2023年5月18日(着工:2022年8月8日)



取り出した水素を一時保管するタンクや、運びやすくするために体積を圧縮する機械、ポンペに詰める設備も併設。



道内では製造に使う水の凍結を防ぐ必要があり、温度管理に留意。



製造した水素は道内の工場向けに販売。

### 04 実施状況について

#### 水電解にかかる電気消費量

水素製造装置を定格運転(200Nm<sup>3</sup>/h)した場合、1時間あたり電気使用量は約1,500kWh。

#### 水電解装置運用コスト

算定的前提となる装置の運用方法について、設備性能評価を通じて検討中。

#### 国内における水素製造装置の拡大想定

NEDO(国立研究法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)が公開している「水素電解技術開発ロードマップの策定に向けた課題整理」によれば、国内での水素製造が国内に広まっていくのは、2030年以降と想定している。

#### グリーン水素のサプライチェーンの進行状況

政府の水素基本戦略目標に基づき、2030年の水素供給開始を目指している。  
2025年度のFID(最終投資判断)をもって、EPC(設計・調達・建設)スケジュールを精査していく。

#### 水素エネルギーが一般化するには何を強化すべきと考えるか。

サプライチェーンの構築には、設備投資や技術開発に多額の資金が必要となるため、国による支援が必要不可欠だと考える。

### 05 視察から得られた学び

水素は脱炭素の切り札として注目され、自動車や産業用ボイラー、発電などさまざまな活用が見込まれる。



北海道内では太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入が進むが、春や秋など電力需要が少ない時期には電力が余る現状がある。

余った再生可能エネルギーの余剰電力を水素製造へ有効活用していく方針は理にかなっている。

# 視察報告書

会派名

無会派

視察年月日	令和6年9月4日(水)
視察先	北海道雨竜郡妹背牛町
参加者	仲亀恭平
視察内容	<p><b>01 視察先の概要</b></p> <p>妹背牛町役場 北海道空知総合振興局管内北部にある町。 人口：2,645人(令和5年10月) 高齢者比率：43.6% (平成27年国勢調査)</p> <p>町の木：ななかまど 町の花：つつじ 所在地：〒079-0592 北海道雨竜郡妹背牛町字 妹背牛5200番地 TEL：0164-32-2411 FAX：0164-32-2290</p> <p><b>02 視察の目的</b></p> <p>妹背牛町では、空き家の活用により子育て世代の要望を多く取り入れた親子の拠点となる「子育て世代交流施設」を整備し、子育ての希望をかなえる地域づくりを目指している。担当者から、取組の経緯から推進体制、運営実績について伺う。</p>  

### 03 子育て世代交流施設 from☆Moko の概要

#### 取組の推進体制

2021年12月1日に、妹背牛町「子育て世代交流施設 from☆Moko」が開設。子育て世代の保護者、自主保育グループ等から、子育て世代の要望「あったらいい！」を取りまとめ、改修業者からの企画提案も取り入れ、「妹背牛町空き家等対策協議会」でも協議・報告を行い、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

#### 利用できる方

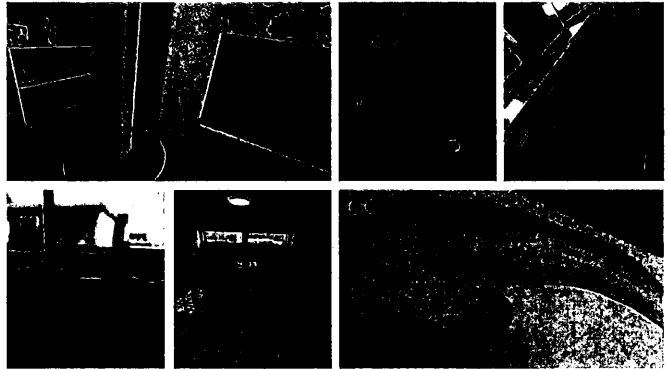
【町内の方】0～18歳の方、その保護者

【町外の方】妹背牛町に家族が居る0～18歳の方、その保護者

※お子さんだけの利用はできません。必ず保護者の方が同伴してください。

#### 整備内容

- ・24時間換気システム
- ・自動センサー手洗い場
- ・3歳未満児用洋式トイレ
- ・手洗い場
- ・広いキッチンスペース
- ・大きな黒板
- ・中二階からの滑り台
- ・トンネル
- ・ハンモックネット
- ・ボルダリング
- ・授乳室等



### 04 活動

子育て経験のある女性スタッフが自身の経験を生かしながら運営に当たっている。多彩な趣味を持つスタッフもおり、子どもたちの感性を育む工作を教えたり、手作りのお菓子を振る舞ったりして、利用者とスタッフとの交流も積極的に行われている。

クリスマスや夏祭りなどの季節行事をはじめ、「骨盤教室」や「マタニティのつどい」など、子育て世代に役立つイベントを開催し市民サービス向上に繋げている。

## 05 効果

町の課題であった空き家対策として、古民家を再生することで、新築と比べて工事費用の4割削減を可能にした。

「子育て世代交流施設 from☆Moko」の整備後は、空き家への関心が高まり、町が実施している中古住宅購入支援事業の活用が増加傾向にある。

「子育て世代交流施設 from☆Moko」の整備をきっかけに子育て世代の移住者をはじめ、関係人口の増加も期待される。

## 06 今後の展望

親子がいつでも集まり交流する施設が完成したことにより、多様なニーズに対応した子育て環境が充実し、子育てに優しい町づくりを推進することができた。

今後の展望として、現在は町内の子育て世帯の利用が中心だが、より多くの方が利用できる準備を進めていく。

- ① 町外の親子も参加できるイベントを開催。
- ② 小・中学生にも活用してもらえる場所となるよう、計画を立ていく。
- ③ 3世代の交流を望む声もあり、子育て世帯以外の利用も検討中。

引き続き、「子育て世代交流施設 from☆Moko」は地域に開かれた施設を目指していく。

研修報告書

	会派名	無会派
研修年月日	令和6年12月10日（	
研修名	地域医療勉強会（大富士交流センター第3会議室）	
参加者	仲亀恭平	
研修内容	<p><b>講師</b></p> <p>【講師】 伊藤由希子 氏</p> <p>【経歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津田塾大学総合政策学部教授</li> <li>・医療経済学を専門にしており、内閣府や厚生労働省の委員を歴任</li> <li>・富士市の新病院建設基本構想等審議会会長</li> <li>・昨年4月22日に富士宮市立病院で聞き取り調査を実施</li> </ul> <p><b>所感</b></p> <p>現在、富士市立中央病院の建て替えに向けた議論が進んでいる。富士医療圏域における医療提供体制の分析では、機能の重複、距離的な近接の視点で地域ごとに適切な病床を割り当てる必要性を指摘された。</p> <p>24時間365日の救急医療、幅広い診療科、最先端の医療設備を備えた大病院の計画は困難であるとのこと。人口減少が進み、働き手が少ない地域で、若年層も減少していく中、外来・入院患者数、それに伴う収益のバランスなどを想定し、病院にどのような機能を持たせるのか、どのような職種が欲しいか、考えていけないといけな。また、富士医療圏は630問題が多い地域である。630問題とは、病院へ6回以上の照会、30分以上行先が決まらない、救急搬送受入れ困難事例のことを察す。この問題の改善に向けて富士医療圏域の様々な関係者が協同し取組まなければならない。</p> <p>富土地域医療圏の状況を考え、公立病院を含めた地域医療の在り方を学ぶ勉強会であった。富士医療圏域（富士宮市立病院、富士市立中央病院、共立蒲原総合病院）の連携を強化し、地域の医療ニーズに対応した医療環境づくりが求められる。</p>	

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	34 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

令和 6年 11月 22日

住所 富士宮市 [REDACTED]  
 団体名 富士宮市議会地球医療勉強会  
 氏名又は代表者名 中野健太郎  
 (連絡責任者) [REDACTED]

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6年 12月 10日(火曜日) 9時 00分 から 下記のとおり 令和 6年 12月 10日(火曜日) 12時 00分 まで		
行事名 内容	研修会	入場予定者数	15 人
		入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他
会場責任者	〒住所 氏名	同上	入場料金 0 円
	(電話番号)		受領印
備考 (附属設備使用)	1.音響装置 6.ピアノ 2.プロジェクター 7.PA 3.スクリーン ⑧Wi-Fi 4.演台 9.その他 5.舞台 ( )	利用料 (基 ・市外・入場料)	550 円
			領収 現金取扱員 6.11.22 消費税込10%(税込) (消費税等 55円)

※許可番号	[REDACTED]
※許可年月日	6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月 10日 (火)			月 日 ( )			月 日 ( )			月 日 ( )			月 日 ( )		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付  
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時まで窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	875 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支 払 年 月 日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

## 領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

## 領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、  
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒 [REDACTED]

氏名

伊藤由希子



# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	711 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支 払 年 月 日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:仲亀恭平	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、  
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒  
氏名



伊藤 由希子



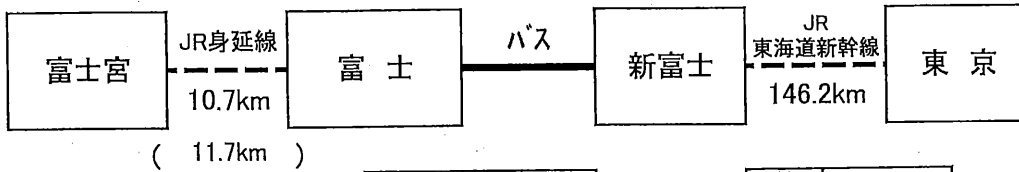
# 旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会

会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス	190
----	-----

特 閑散期	2,860
----------	-------

JR運賃営業キロ	
	156.9 Km
	2,640 円
バス	190 円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円
	私鉄	円		
特急料金	通常	円	日当	円 × 日 × 人 = 0 円
	閑散	5,720 円		
	繁忙	円		
航空運賃	料金	円	宿泊料	円 × 夜 × 人 = 0 円
		円		
車賃(バス)		380 円		
		円		
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人 = 11,380 円

※旅費計算表に基づく

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	68 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として  
上記正に領収いたしました。



内訳			
税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

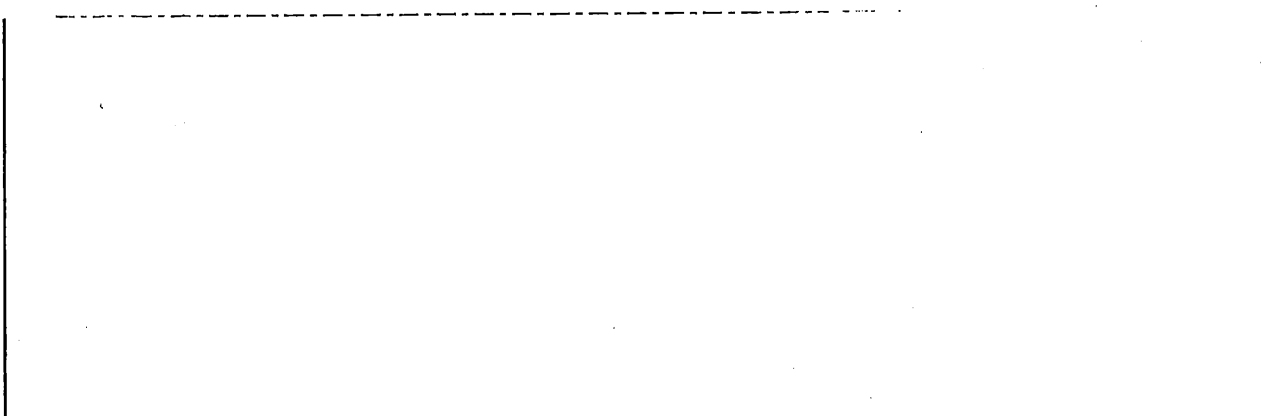
大富士交流センター 指定管理者

(公財) 富士宮市振興公社

TEL 0544-28-0024

登録番号：T1080105003625

No. [REDACTED]



令和6年12月4日

津田塾大学 総合政策学部  
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会  
幹事 望月 芳将  
中野 健太郎

### 地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火)午前10時から11時45分まで
- 2 場所 大富士交流センター第3会議室  
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員14名
- 4 勉強会の議題  
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝礼 14,000円  
交通費 11,380円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話 [REDACTED] 携帯 [REDACTED]

e-mail [REDACTED]

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	白井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計			16名

# 視 察 申 請 書

		予算項目	調 査 旅 費
起 案	令和 6 年 12 月 10 日	決 裁	6 年 12 月 10 日
所 属	氏 名	備 考	
1	無会派 仲亀恭平		
2			
3			
4			
5			
視察市町村	視 察 先	目 的	
東京都赤羽	社会福祉法人東京都福祉事業協会 赤羽北さくら荘 赤羽北のぞみ保育園	高齢者施設に保育園が併設された複合施設についての経緯と実績を伺う	
栃木県宇都宮市	トナリエ宇都宮3階 オープンスクエア	地方の公共交通を充実させるライトライン事業の運営について調査及びに現地視察のため	
東京都港区	港区子ども家庭支援センター 「あっぴい」	育てをしやすい環境を整える子育て支援の調査及びに現地視察のため	
東京都千代田区	衆議院第一議員会館	子ども・子育て施策（子育ての経済的支援、児童手当の抜本的拡充、出産等の経済的負担の軽減等）を学ぶため	
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
栃木県宇都宮市 東京都千代田区	令和 6 年 12 月 18 日	令和 6 年 12 月 20 日	

# 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	57,200 円
内 容	①社会福祉法人赤羽北さくら荘及び赤羽北のぞみ保育園(東京都北区) ②宇都宮ライトレール事業(栃木県宇都宮市) ③港区子ども家庭支援センター(東京都港区) ④衆議院第一議員会館(東京都千代田区) ①～④への行政視察にかかる旅費
目 的	①高齢者施設と保育園の複合施設の運営実績や経緯について ②宇都宮ライトレール事業による宇都宮まちづくりについて ③子育てひろば あっびいの取り組みについて ④子育て支援施策についての勉強会
支 出 先	仲亀恭平
支払年月日	令和6 年 12 月 18 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平 一名	

— 領収書等貼付欄 —

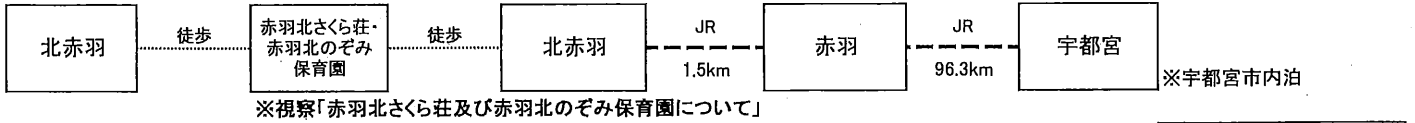
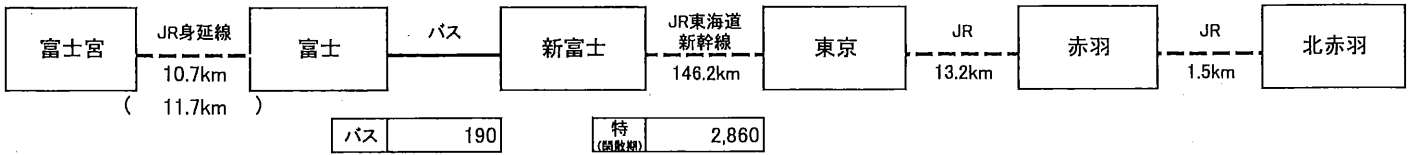
別紙のとおり

# 旅費計算書(政務活動費)

無会派  
(仲亀議員)

● 1日目：令和6年12月18日(水) 閑散期

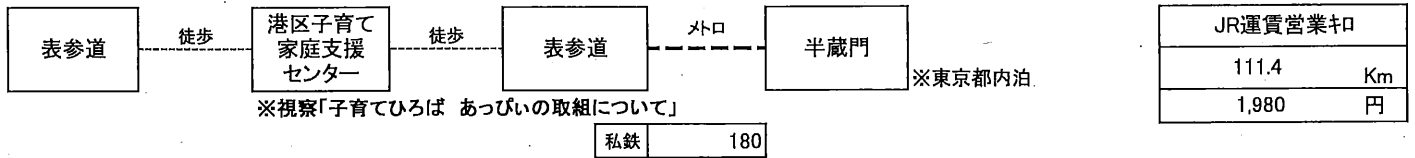
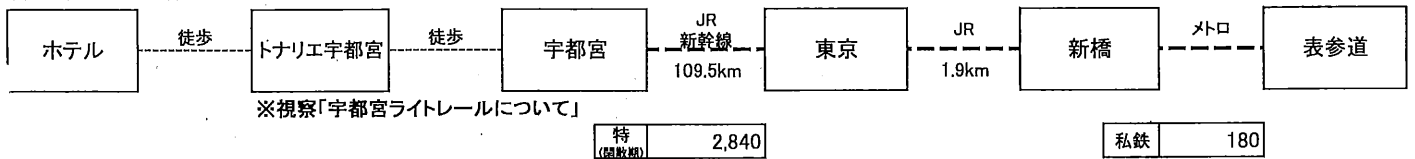
【視察】赤羽北さくら荘(東京都北区赤羽北3-6-10)、赤羽北のぞみ保育園(東京都北区赤羽北3-6-10)



JR運賃営業キロ	
269.4	Km
4,770	円

● 2日目：令和6年12月19日(木) 閑散期

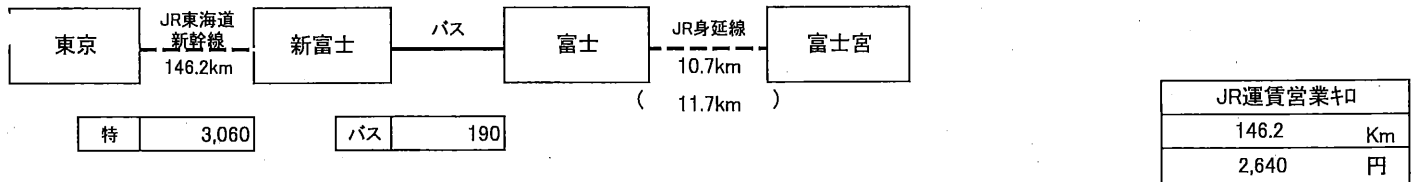
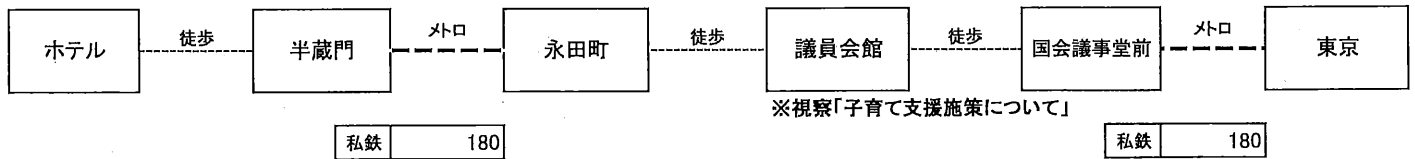
【視察】トナリエ宇都宮オープンスクエア(栃木県宇都宮市駅前通り1-4-6)、港区子ども家庭総合支援センター(東京都港区南青山5-7-11)



JR運賃営業キロ	
111.4	Km
1,980	円

● 3日目：令和6年12月20日(金)

【視察】深澤陽一衆議院議員(衆議院第一議員会館：東京都千代田区永田町2-2-1)



JR運賃営業キロ	
146.2	Km
2,640	円

鉄道賃	JR	9,390	円	運賃 A	19,250	円	×	1	人 =	19,250	円		
	私鉄	720	円		日当	1,650	円	×	3	日	×	1	人 =
特急料金	通常	3,060	円	航空運賃									
	閑散	5,700	円			料金							
航空運賃	料金			車賃(タクシー)									
車賃(バス)	380	円	宿泊料		16,500	円	×	2	夜	×	1	人 =	33,000
1人往復運賃合計 A	19,250	円		旅費合計	57,200	円/人	×	1	人 =	57,200	円		

視察報告書

	会派名	無会派
視 察 年 月 日	令和6年12月18日	
視 察 先	社会福祉法人 東京都福祉事業協会 赤羽北さくら荘、赤羽北のぞみ保育園	
参 加 者	仲亀恭平	
視察内容	<p><b>複合施設（高齢者施設と保育園）とは</b></p> <p>高齢者施設と保育園が同じ敷地内や隣接する土地に立地している施設をいう。園児は社会性や思いやりの心を身につけ、高齢者は癒しと活力をもらう。世代が全く違う子どもたちと触れ合うことで、世代間の理解を深め、相互に支え合う施設環境となっている。</p> <p><b>施設概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄筋コンクリート造・地上5階+地下1階</li> <li>・ 敷地面積約4千 m<sup>2</sup></li> <li>・ 延床面積約9千m<sup>2</sup></li> <li>・ 職員125人(高齢施設100、 保育所25)</li> </ul> <p><b>経緯</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成25年7月末、北区から当協会に、平成28年度末での指定管理施設浮間さくら荘の廃止と併せ、区有地での新特養・保育所複合施設の整備・運営について打診を受ける。</li> <li>② 同年9月18日の理事会・評議員会において、当該複合施設の整備・運営に前向きに取り組むこととされ、北区の事業予定者審査会の妥当性審査を経て、平成26年2月に当協会が事業予定者として決定した旨の通知を受理する。</li> <li>③ 特養160床(ショートステイ12床を含むユニット型120床、多床室40床)、在宅サービス、保育所100名定員からなる新複合施設の整備・運営について、東京都と補助協議を進める。 より良い施設とするため、当該整備検討委員会を設置し、検討を重ねるとともに、設計事務所も加わり限られた敷地面積での有効活用を念頭に、基本的な建物の設計について検討を行う。</li> <li>④ 敷地面積が定員規模に比べ狭隘であることが大きなネックとなっていたが、建築基準法の容積率に関する規制が緩和に伴い、特養地階の有効活用として、厨房・洗濯室・会議室・倉庫・更衣室を設置し、その面積相当が利用者居室空間や採光等の居住環境改善に反映させることができた。</li> <li>⑤ 平成27年11月から着工し平成29年1月31日に竣工し、施設の名称を「赤羽北さくら荘」と「赤羽北のぞみ保育園」とした。</li> </ol>	

## 所感

赤羽北さくら荘及び赤羽北のぞみ保育園では、高齢者施設と保育所の複合施設を通じて利用者及び園児の相互交流を図っている。運動会や誕生会等の行事への参加は高齢者、園児双方にとって大きな楽しみになっている。

複合施設においては、高齢者と園児の日常は別々の生活スペースとなっており、トラブル（園児による医薬品の誤飲、高齢者にぶつかるなど）は起こらないよう対策されていた。行事等の際においても、職員が安全を確保し、利用者は安心して行事を楽しんでいる。

また、地域における大きな福祉エリアゾーンとなるよう様々な取組みをされていた。

- ・ 高齢者が気軽に集まることのできるコミュニティサロン
- ・ 子育てに関する講習会
- ・ 子育て世帯同士の交流等
- ・ 地域包括支援センター協働の「赤北マルシェ」の開催 など

高齢者と園児との交流事業の中に「あおぞらサロン（体操）」がある。こちらは毎週、近隣住民とともに園児と一緒に体操する事業になっており、地域共生社会の実現に向けた取組みだと考える。

視察報告書

	会派名	無会派
視察年月日	令和6年12月19日	
視察先	トナリエ宇都宮3階オープンスクエア（宇都宮市建設部 LRT 整備課協働広報室）	
参加者	仲亀恭平	
視察内容	<p><b>ライトラインとは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代型路面電車システムで、低床式車両を採用した乗り物。騒音や振動が少なく、バリアフリー構造になっており、人と環境にやさしい交通機関である。</li> <li>・栃木県宇都宮駅東口停留場～芳賀・高根沢工業団地停留場を結ぶ路線である。</li> </ul> <p><b>【特徴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子やベビーカー利用者、足腰の悪い高齢者でも利用しやすい。</li> <li>・信用乗車方式を採用しており、乗務員が運賃の支払いを確認しない。</li> <li>・短い待ち時間や安い運賃設定などの高い利便性。</li> </ul> <p><b>地域課題</b></p> <p>宇都宮市域の人口は、都心部で減少、郊外部で増加傾向にあった。その理由としては、工業団地が整備された東部地域で労働人口が大幅に増加し、都心部から東部地域へのトリップ数が増加したためである。その結果、東部地域では公共交通が十分に整備されていないことから、自動車依存が進行し、渋滞が発生していた。ライトラインは、こうした人口分布の変化や自動車依存の深刻化等による宇都宮東部地域の渋滞の解消を目的としてスタートした。</p> <p><b>効果</b></p> <p><b>【まちの変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトライン沿線の人口：約 5,000 人（8%）増加↑</li> <li>・ライトライン沿線の地価：商業地約 6% 上昇↑ 住宅街約 11% 上昇↑</li> <li>・移住相談件数：約 10 倍増加↑</li> <li>・移住者数：約 14 倍増加↑</li> </ul> <p><b>【ライフスタイルの変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトライン沿線住民の交流機会：約 11 ポイント上昇↑</li> <li>・ライトライン沿線住民の通院や介護の送迎負担感：約 7.5 ポイント減少↓</li> <li>・平均歩数：349 歩（7%）増加↑ ※歩行数増加による健康推進効果が見込める</li> </ul> <p><b>【移動にかかる満足度の変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学者満足度：約 58 ポイント増加↑</li> <li>・通勤者満足度：約 19 ポイント増加↑</li> <li>・買い物や通院時：約 59 ポイント増加↑</li> </ul>	

- ・子育て世代や車いす利用者：約43ポイント増加↑
- ・魚の骨ネットワーク

バス路線が集中している大通りにライトライン路線を導入することにより、輸送効率を向上させること。それによって、輸送効率化されたバス路線（本線）から離れた路線（支線）に振り分けが可能になり、バスの運行本数の増加や新規路線の充実に繋がる。

## 所感

地域の課題は、人口の郊外化により低密度の市街地が拡大し、中心市街地の活力低下が進んでいたこと。この課題を解決する夢のあるアイデアがライトライン事業である。「雷の稲光」をモチーフとした黄色い車体と洗練されたデザイン、先端技術を採用したライトラインは、従来の乗り物のイメージを変え、都市交通の新たなカタチをみせてくれる。

実際に乗車をして窓を見ると、沿道の子供たちが手を振ってくれ、うれしくて振り返した。スマホやカメラで撮影する人々の姿も見られ、ライトラインは街の新たなシンボルなのだと感じた。

また、ライトライン事業によってバスの路線が大きく変化していた。バス路線の編成に関しては、公共交通空白地域の解消に繋がっている。

交通網の充実により、地域連携の交通系ICカード「totra（トトラ）」についての利用需要が高まっている。宇都宮市では、小学生向けトトラを全員配布したと伺った。小学生にも配布することで「公共交通の利用促進につながる」、「自動で児童運賃が適用され、運賃支払いの簡素化が図れる」など、様々な角度で、住民サービス向上に繋がっていた。

視察報告書

	会派名	無会派									
視察年月日	令和6年12月19日-12月20日										
視察先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港区子ども家庭支援センター「あっぴい」</li> <li>・衆議院第一議員会館</li> </ul>										
参加者	仲亀恭平										
視察内容	<p><b>子育て支援の必要性</b></p> <p>いま、子育てをめぐる社会環境全体が急激に変化してきている。少子化社会の進展、核家族化、地域のつながりや人間関係が希薄になってしまい、身近に支えてくれる人がいない方が増えている。また、未婚化や晩婚・晩産化の影響や経済状況の懸念から子育てや生活への不安を抱く家庭も多く存在する。</p> <p>これらの家庭が出産や育児に抱いている不安を解消するために、子育てをしやすい環境を整える政策が「子育て支援」である。</p> <p><b>子育てひろば事業（あっぴい）の取組み</b></p> <p>子育てひろば事業は、地域の子育て家庭の保護者とその子どもが集える場を提供し、親子の相互交流の促進及び育児不安等に関する相談、援助等を行うことを目的としている。事業を実施することにより、子育て・子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。</p> <p>また、保護者の社会参加やリフレッシュなど理由を問わず乳幼児を一時的に預かる港区乳幼児一時預かり事業を実施することにより、当該乳幼児の保護者の子育てを支援するとともに、乳幼児の健全な育成を図る。</p> <p><b>こども未来戦略「加速化プラン」施策のポイント</b></p> <p><b>【児童手当の拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限を撤廃</li> <li>・高校生年代まで延長</li> <li>・第3子以降は3万円</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支給金額</th> <th>3歳未満</th> <th>3歳～高校生年代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1子、第2子</td> <td>15,000円（月額）</td> <td>10,000円（月額）</td> </tr> <tr> <td>第3子以降～</td> <td colspan="2">30,000円（月額）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※多子加算のカウント方法を見直し</p> <p><b>【子育て世帯の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こども誰でも通園制度」を創立</li> <li>・貧困、虐待防止、障がい児童、医療的ケア児への支援強化</li> <li>・補装具費支援の所得制限の撤廃</li> </ul>		支給金額	3歳未満	3歳～高校生年代	第1子、第2子	15,000円（月額）	10,000円（月額）	第3子以降～	30,000円（月額）	
支給金額	3歳未満	3歳～高校生年代									
第1子、第2子	15,000円（月額）	10,000円（月額）									
第3子以降～	30,000円（月額）										

【育休を取りやすい職場に】

- ・男性の育休取得目標 85%へ大幅引き上げ（2030年）
- ・給付率を手取り 10割相当へ  
出生後の一定期間に男女で育休を取得すること促進するため
- ・時短勤務時の新たな給付
- ・国民年金 1号被保険者の育児期間に係る保険料免除措置

所感

子育て支援は保護者の負担軽減や子供の健やかな成長の促進のため、重要な施策である。こども未来戦略「加速化プラン」では、児童手当の拡充により、すべての子どもの育ちを支える経済支援としての位置づけが明確となった。3人のお子さんを持つ世帯では、総額で1,000万円の手厚い支援となる。また、子ども・子育て支援金を様々な施策に充当し、育児期を通じた柔軟な働き方を推進させ、子育てとの両立を実現させる。

子育て支援のために国・県・市・町、あるいは様々な機関が子育て支援を行っている。それらが実りある成果を上げるためには、地域の実情に応じた子ども・子育て支援事業であること、また利用しやすい施設、サービス内容であることが重要だと考える。

# 支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	477 円
内 容	文具用品代
目 的	議会活動にかかる経費
支 出 先	イオンスタイル富士宮 イオンリテール株式会社
支払年月日	令和 7 年 1 月 14 日
その他特記事項 A 4太罫 ノートブック 570円 インデックスホルダー 298円 消費税 86円 合計 954円 <span style="float: right;">954円 × 1/2 = 477円</span>	

— 領収書等貼付欄 —

## AEON STYLE

イオンスタイル富士宮  
TEL0544-25-5810 FAX0544-25-5820

### 領 収 証

イオンリテール株式会社  
登録番号 T2040001000456

印 9/5/17/14(火) 13:29  
取 黄

A 4 太罫 570  
5 インデックスホルダー縦 298

小 計	¥868
外税10%対象額	¥868
外税10%	¥86

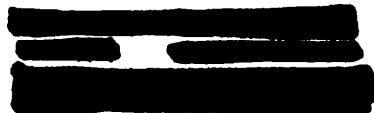
合 計 ¥954

ポイント ¥954

ID: ¥0

お釣り ¥0

お買上商品数:2



# 支 出 伝 票

項 目	事務費									
金 額	356 円									
内 容	文具用品代									
目 的	議会活動にかかる経費									
支 出 先	イオンスタイル富士宮 イオンリテール株式会社									
支払年月日	令和 7 年 1 月 17 日									
その他特記事項	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 4クリップノート</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">648円</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td style="text-align: right;">64円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">712円</td> <td style="text-align: right;">712円 × 1/2 = 356円</td> </tr> </table>	A 4クリップノート	648円		消費税	64円		合計	712円	712円 × 1/2 = 356円
A 4クリップノート	648円									
消費税	64円									
合計	712円	712円 × 1/2 = 356円								

— 領収書等貼付欄 —

## AEON STYLE

イオンスタイル富士宮  
TEL0544-25-5310 FAX0544-25-5820

### 領 収 証

イオンリテール株式会社  
登録番号 T2040001000456

印 2025/ 1/17(金) 17:24  
取 責

A 4クリップノート 648

小 計	¥648
外税10%対象額	¥648
外税10%	¥64

合 計	¥712
クレジット	¥712
お釣り	¥0

お買上商品数:1

ポイント・マイルにつきましては、  
請求書またはWEBでご確認下さい

[クレジットカード売上票]  
(お客様控え)

本人確認省略  
カード会社  
会員番号  
お取扱日 2025年01月17日  
取引内容 お買上  
伝票番号  
取扱区分 1回  
金 額 ¥712  
承認番号  
AID  
APL

# 支 出 伝 票

項 目	事務費																																		
金 額	1,043円																																		
内 容	文具用品代																																		
目 的	議会活動にかかる経費																																		
支 出 先	イオンスタイル富士宮 イオンリテール株式会社																																		
支払年月日	令和7年 1月 30日																																		
その他特記事項	<table style="width: 100%; border: none;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">品名】</th> <th style="text-align: right;">金額】</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コピー用紙A4 50</td> <td style="text-align: right;">330円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フラットファイルA4</td> <td style="text-align: right;">150円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポストイット付箋</td> <td style="text-align: right;">330円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポケットノート</td> <td style="text-align: right;">330円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>名刺ホルダー</td> <td style="text-align: right;">758円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td style="text-align: right;">189円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,087円</td> <td style="text-align: right;"><math>2,087 \times \frac{1}{2} =</math></td> <td style="text-align: right;">1,043円</td> </tr> </tbody> </table>			品名】	金額】			コピー用紙A4 50	330円			フラットファイルA4	150円			ポストイット付箋	330円			ポケットノート	330円			名刺ホルダー	758円			消費税	189円			合計	2,087円	$2,087 \times \frac{1}{2} =$	1,043円
品名】	金額】																																		
コピー用紙A4 50	330円																																		
フラットファイルA4	150円																																		
ポストイット付箋	330円																																		
ポケットノート	330円																																		
名刺ホルダー	758円																																		
消費税	189円																																		
合計	2,087円	$2,087 \times \frac{1}{2} =$	1,043円																																

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	文具用品代
----	-----	----	-------

領収書等貼付欄

AEON STYLE

イオンスタイル富士宮  
TEL0544-25-5310 FAX0544-25-5820

**領収証**  
イオンリテール株式会社  
登録番号 T2040001000456  
印 2025/ 1/30(木) 12:25  
取 責:

TVフラットファイルA 4 158 ↓  
会員様割引 5% -8  
ポストイットふせん 348 ↓  
会員様割引 5% -18  
ポケットノートノー414 348 ↓  
会員様割引 5% -18

小 計 ¥810  
外税10%対象額 ¥810  
外税10% ¥81

合 計 ¥891  
クレジット ¥891  
お釣り ¥0  
お買上商品数:3

ポイント・マイルにつきましては、  
請求書またはWEBでご確認下さい

[クレジットカード売上票]  
(お客様控え)

本人確認省略  
カード会社  
会員番号  
お取扱日 2025年01月30日  
取引内容 お買上  
伝票番号  
取扱区分 1回  
金 額 ¥891  
承認番号  
AID  
APL

AEON STYLE

イオンスタイル富士宮  
TEL0544-25-5310 FAX0544-25-5820

**領収証**  
イオンリテール株式会社  
登録番号 T2040001000456  
印 2025/ 1/30(木) 12:24  
取 責:

シンプルズ名刺ホルダー 798 ↓  
会員様割引 5% -40

小 計 ¥758  
外税10%対象額 ¥758  
外税10% ¥75

合 計 ¥833  
クレジット ¥833  
お釣り ¥0  
お買上商品数:1

ポイント・マイルにつきましては、  
請求書またはWEBでご確認下さい

[クレジットカード売上票]  
(お客様控え)

本人確認省略  
カード会社  
会員番号  
お取扱日 2025年01月30日  
取引内容 お買上  
伝票番号  
取扱区分 1回  
金 額 ¥833  
承認番号  
AID  
APL

AEON STYLE

イオンスタイル富士宮  
TEL0544-25-5310 FAX0544-25-5820

**領収証**  
イオンリテール株式会社  
登録番号 T2040001000456  
印 2025/ 1/30(木) 12:25  
取 責:

TVコピー用紙A 4 50 348 ↓  
会員様割引 5% -18

小 計 ¥330  
外税10%対象額 ¥330  
外税10% ¥33

合 計 ¥363  
クレジット ¥363  
お釣り ¥0  
お買上商品数:1

ポイント・マイルにつきましては、  
請求書またはWEBでご確認下さい

[クレジットカード売上票]  
(お客様控え)

本人確認省略  
カード会社  
会員番号  
お取扱日 2025年01月30日  
取引内容 お買上  
伝票番号  
取扱区分 1回  
金 額 ¥363  
承認番号  
AID  
APL

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 7 年 2 月 28 日	決 裁	7 年 2 月 28 日
	所 属	氏 名	備 考
1	無会派	仲亀恭平	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都文京区	公益社団法人 日本臨床工学技士会 (湯島1丁目3-4 KTお茶の水聖橋ビル5F)	臨床工学技士の給与をどう上げるか？ ～財政政策を知ろう～ 講師：松本尚衆議院議員	
研 修 目 的			
松本尚衆議院議員による講演「臨床工学技士の給与をどう上げるか？～財政政策を知ろう～」を拝聴し、医療スタッフの処遇改善に向けた取組みを学ぶ。			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
	令和 7 年 2 月 28 日	令和 7 年 2 月 28 日	

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	11,780 円
内 容	日本臨床工学技士連盟主催のセミナーに参加するための交通費。
目 的	松本尚衆議院議員による講演「臨床工学技士の給与をどう上げるか?～財政政策を知ろう～」を拝聴し、医療スタッフの処遇改善に向けた取組みを学ぶ。
支 出 先	仲亀恭平
支 払 年 月 日	令和 7 年 2 月 28 日
その他特記事項(参加者・人数等) 仲亀恭平一名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

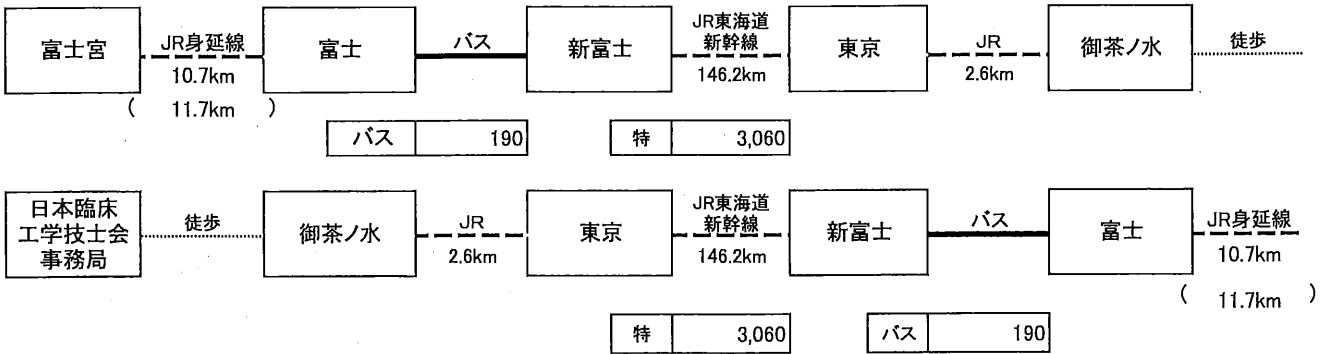
旅費計算書(政務活動費)

無会派  
(仲筆議員)

● 1 日 目 : 令 和 7 年 2 月 28 日 ( 金 )

【研修】セミナー「臨床工学技士の給与をどう上げるか? ~財政政策を知らう~」

会場 : 日本臨床工学技士会事務局(東京都文京区湯島1丁目3-4 KTお茶の水聖橋ビル5F)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
159.5	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,780 円 × 1 人 = 11,780 円			
	私 鉄	円		日 当	1,650 円 × 0 日 × 1 人 = 0 円		
特 急 料 金	通 常	6,120 円	宿 泊 料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
	閑 散	円			車 賃 ( バ ス )	380 円	
	繁 忙	円		1 人往復運賃合計 A		11,780 円	
航 空 運 賃	料 金	円	旅 費 合 計	11,780 円/人 × 1 人 = 11,780 円			
船 賃		円					

# 研修報告書

	会派名	無会派
研修年月日	令和7年2月28日 19:00～	
研修先	臨床工学技士連盟主催セミナー 「臨床工学技士の給与をどうあげるか ～財政政策を知ろう～」	
参加者	仲亀恭平	
研修内容	<p><b>研修の目的</b></p> <p>病院運営には、医師・看護師・放射線技師・検査技師・理学療法士・作業療法士・栄養士など医療資格保持者は欠かせない存在である。臨床工学技士も医療現場には重要な存在なのだが、いなくても診察や検査はできる。つまり、臨床工学技士は病院の運営上いなくても問題ないとも言える。</p> <p>一方では、医療の細分化から臨床工学技士の負担は増えている。臨床工学技士の仕事は緊急時の対応や夜間での呼出し対応など、必要とされる場面が切迫しており、責任が大きい業務が多い。新しい医療機器の導入などにより、今後ますます活躍の幅が広がる臨床工学技士に対し、手厚い支援が必要だと感じる。</p> <p>講師である衆議院議員松本尚氏は救急医療の最前線にいた方。 今回の研修を通じて、今後の医療報酬の在り方から臨床工学技士の処遇改善の政策について考えを伺いたい。</p> <p><b>内容</b></p> <p>【臨床工学技士とは】</p> <p>臨床工学技士は、病院やクリニックで医療機器の操作や保守・点検を行う医療技術スタッフのこと。医師や看護師など他の医療スタッフと連携して患者さまの命を支える役割を担っており、チーム医療を支える存在でもある。</p> <p>【業務内容】</p> <p>医学と工学の両方の知識を備え、生命維持装置の操作や安全管理など、チーム医療において必要な業務を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人工呼吸器や人工心肺装置、人工透析装置などの生命維持管理装置の操作</li><li>・心臓カテーテル検査、治療やペースメーカー埋え込み術の補助業務</li><li>・医療機器の保守、点検</li><li>・血液浄化業務 (血液透析療法、血漿交換療法、血液吸着法など)</li></ul>	

#### 【医療の視点からの財政政策】

診療報酬に関しては、本体部分と薬価部分のせめぎ合いになっている。パイを奪い合っている現状では、健全な財政状況を実現できない。医療従事者のパイを増やす政策に目を向けるべきとの指摘。

臨床工学技士にもマクロ経済のを知ってもらいたい、政治に興味をもってもらいたい。臨床工学技士はもちろんだが、日本で働くすべての労働者に対しても経済を回し、デフレを脱却することで、「景気の回復＝労働者の処遇が改善」が実現できる。

一方、医療の細分化から臨床工学技士の負担は増えており、現場の臨床工学技士は今まさに疲弊している。懸命に患者さまの治療に当たり、責任感を持ち働いている臨床工学技士に対し、見合った給与なのかは疑問である。臨床工学技士の平均年収は426万というデータがあり、日本人平均年収436万円に対し、低い水準では働き手が不足してしまう危機感を強く持っている。

「臨床工学技士の仕事がまわりから尊敬されるために必要な仕事」であることから社会的認知度を上げ、処遇改善につなげる策を講じなければならない。

#### 所感

臨床工学技士は医療機器のスペシャリストとして、医師と連携して必要な設備の導入やアドバイスなどを行っている。

医者1人が医療をコントロールする時代ではない。医療業務を役割分担し、各役割にそれぞれのプロが集まることで、質の良い医療を提供する上で重要である。これこそが「チーム医療」であり、医療の質の向上に貢献している。「チーム医療」の一員として臨床工学技士の存在が必要不可欠であるのは間違いないが、処遇改善する政策は無いのが現状である。

今後の「チーム医療」の実現には、臨床工学技士の賃金の改善や処遇改善のための加算額の確保のほか、多職種間連携の推進などによる医療の質の向上が重要である。

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	7 年 3 月 1 日	決 裁	7 年 3 月 1 日
所 属	氏 名		備 考
1	無会派 仲亀恭平		
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	地方議員研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体病院と地方財政の基礎</li> <li>・ 参加自治体の現状把握</li> </ul>	
研 修 目 的			
自治体病院の今後のあり方についての研究のため。			
宿泊地	出発年月日	帰省年月日	
東京都千代田区	令和 7 年 3 月 25 日	令和 7 年 3 月 25 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	30,000 円
内 容	地方議員研究会主催の研修会受講料
目 的	病院関連質問で地域の医療を守る特別研修 自治会病院と地方財政の基礎」及び、 参加自治体の現状把握」に参加するため。
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和 7 年 3 月 25 日
その他特記事項 参加者・人数等) 仲亀恭平一名 3/25分 15,000円×2講座	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

2025 年 3 月 25 日

富士宮市議会議員 仲亀恭平 様

★

¥45,000

但 3/25.26 地域の医療を守る特別研修

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市

大阪駅前第2ビル

TEL 050-6

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,830 円
内 容	地方議員研究会主催の研修会への旅費
目 的	病院関連質問で地域の医療を守る特別研修（東京1日目） 「自治会病院と地方財政の基礎」と「参加自治体の現状把握」 に参加するため。
支 出 先	仲亀恭平
支払年月日	令和 7 年 3 月 25 日
その他特記事項（参加者・人数等） 仲亀恭平一名	

— 領収書等貼付欄 —

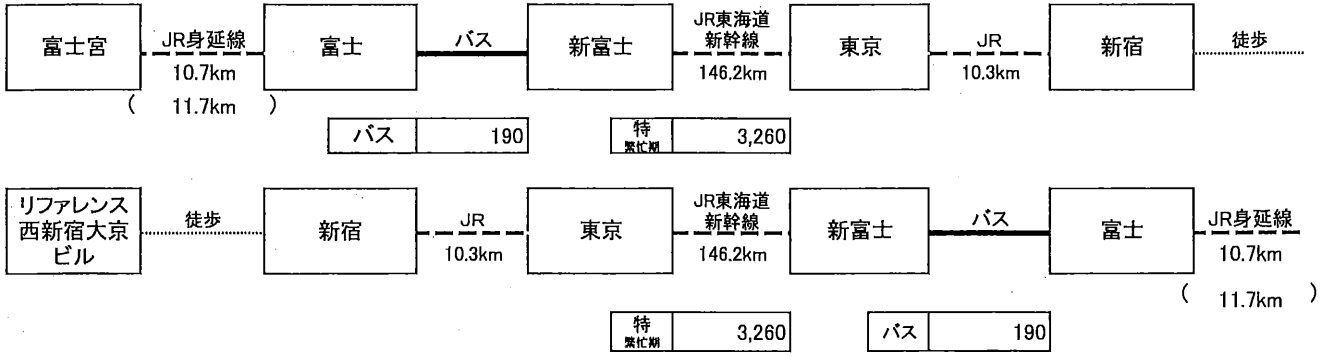
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派  
(仲 籠 議 員)

● 1 日 目 : 令 和 7 年 3 月 25 日 ( 火 ) 緊 忙 期

【研修】CKセミナー「自治体病院と地方財政の基礎」参加自治体病院の現状把握(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	12,180 円	×	1 人	=	12,180 円				
	私 鉄	円		日 当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円			
特 急 料 金	通 常	円	航空運賃		料 金	円	宿 泊 料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
	閑 散	円										
	繁 忙	6,520 円	車 賃 ( バ ス )	380 円	1 人 往 復 運 賃 合 計 A	12,180 円	旅 費 合 計	13,830 円/人	×	1 人 = 13,830 円		

# 研修報告書

	会派名	無会派																																						
研修年月日	令和7年3月25日 10:00~12:30 令和7年3月25日 14:00~16:30																																							
研修名	地方議員研究会「病院関連質問で地域の医療を守る特別研修」 自治会病院と地方財政の基礎／参加自治体の現状把握																																							
参加者	仲亀恭平																																							
研修内容	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"><b>研修の目的</b></div> <p>地域に必要な医療を公平に提供する自治体病院。一方でその病院経営に関してはどのようなになっているのかについては専門性が高く、わかりにくいものになっている。</p> <p>富士市議会では市立中央病院に対し、未取得であった診療報酬加算5項目に関して取得可能であると指摘した。調査の結果、5項目のうち4項目に関しては取得可能として、投資額を差引いた計1億2,450万円の収益に繋がった。</p> <p>今回の研修を通じて、富士宮市の自治体病院の経営状況を把握し、経営改善点、あるいは今後の病院の在り方を学ぶ。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"><b>内容</b></div> <p><u>富士宮市の現状把握</u></p> <p>【富士宮市手持ち現金・一時借入状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>現金</th> <th>一時借入金</th> <th>長期企業債</th> <th>短期企業債</th> <th>企業債合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>¥1,474,659</td> <td>¥0</td> <td>¥1,439,326</td> <td>¥201,372</td> <td>¥1,640,698</td> </tr> </tbody> </table> <p>【富士宮市立病院加算取得状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>総合入院体制加算</td> <td>ナシ</td> </tr> <tr> <td>小児入院医療管理料</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小児科医</td> <td>5人以上</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア</td> <td>アリ</td> </tr> <tr> <td>感染対策</td> <td>ナシ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【富士宮市立病院医療機器状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>CT64</th> <th>MRI 1.5-3T</th> <th>アンギオ</th> <th>SPECT</th> <th>PETCT</th> <th>サイバーナイフ</th> <th>MR T</th> <th>ラルス</th> <th>ダヴィンチ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		現金	一時借入金	長期企業債	短期企業債	企業債合計	¥1,474,659	¥0	¥1,439,326	¥201,372	¥1,640,698	総合入院体制加算	ナシ	小児入院医療管理料	3	小児科医	5人以上	地域包括ケア	アリ	感染対策	ナシ	CT64	MRI 1.5-3T	アンギオ	SPECT	PETCT	サイバーナイフ	MR T	ラルス	ダヴィンチ	2	1	1	1	0	0	1	0	0
現金	一時借入金	長期企業債	短期企業債	企業債合計																																				
¥1,474,659	¥0	¥1,439,326	¥201,372	¥1,640,698																																				
総合入院体制加算	ナシ																																							
小児入院医療管理料	3																																							
小児科医	5人以上																																							
地域包括ケア	アリ																																							
感染対策	ナシ																																							
CT64	MRI 1.5-3T	アンギオ	SPECT	PETCT	サイバーナイフ	MR T	ラルス	ダヴィンチ																																
2	1	1	1	0	0	1	0	0																																

## 医師の働き方改革

### 【医師残業時間の上限規制】

- ・2019年4月から施行された働き方改革関連法は、一般労働者の残業時間の上限を720時間/年とし、休日出勤を含めても960時間/年が上限になる。
- ・医師に一般労働者と同じルールを適応すると医療現場が回らなくなる。
- ・医師向けの独自ルールとして、2024年4月から地域医療確保暫定特例水準として1860時間が上限となることが示された。

### 【新しい建物の病院に医師は勤務する】

- ・老朽化した病院施設では使い勝手も悪く、アメニティも劣悪なことが多い。
- ・新型コロナのような感染症対策も不十分。
- ・新しい病院に医師が集まる傾向が高まっている。

### 【病院建設費抑制のポイント】

- ・病床数を絞りこむ。(建設費の抑制・医療人材不足への対応)
- ・個室率を高め、病床利用の効率性を高める。(ただし床面積は増える)
- ・従来の官庁発注ではなく、新しい建設手法の導入。
- ・シンプルで建設しやすいデザイン。
- ・ムダな吹き抜け、ガラス張りなどデザインに凝らない。
- ・職員のアメニティ、若手医師の勉強のための会議室など必要な投資は行う。
- ・機能分化・連携による40%の交付税措置を目指す。
- ・可能なら過疎債や中央省庁補助金の獲得

## 所感

■地域性や時代の変化に柔軟に対応することが重要となり、それに沿った病院施設利用計画の立案が重要である。

・富士宮市立病院が担うべき役割・機能を明確化させ、他病院との機能分化を進めなければならない。

・医療技術スタッフの確保対策については、職場に休憩室や更衣室、食堂などのアメニティが充実している等の要素も勤務先を選択する上で重要な要素となっている。

・コロナ感染の影響により、地域包括ケア病棟を感染対策病棟として運営していた時期があった。感染対策に対して迅速な対応に評価する一方で、今後、新たな感染症が蔓延した場、改めて環境を整備しないとならない。

感染症対策の視点で、富士宮市立病院をチェックすると現状の構造では感染症に対応できない。「施設の老朽化」「床面及び壁面は消毒及び清掃が面倒な構造」「感染経路が不備」がみられ富士宮市立病院の移転・建替えの必要性を感じた。

■病院の体力低下を認め、以前は地域一完結できていたことが、できなくなっている事実を受け入れること。

富士宮市立病院は医療の高度・専門化に対応した急性期病院を維持し続ける方向なのか。急性期病院を維持するのなら「総合入院体制加算3」を目指し、加算取得条件から現状何が足りないのかを明確すること。しかしながら、医師の確保の難しさから、加算取得は難しい。医師不足、病院間の競争を考えると、病床数を大幅に減らすことも考えなければならない。

講師曰く「病床数がパワーであった時代は終わった。」

現状、富士宮市立病院の状況は、適切な病床利用率を確保できている。しかし、将来的には過剰な病床数を持つ場合は病床数を減して、看護職員配置の効率化、夜勤必要病棟数の減少による夜間看護師必要数の減少、病床数199床以下にすることによる診療報酬の増額を目指す案も提示された。

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	7 年 3 月 1 日	決 裁	7 年 3 月 1 日
所 属	氏 名		備 考
1	無会派	仲亀恭平	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	地方議員研究会	必ず成果が出る質問の取り上げ方	
研 修 目 的			
議会質問のあり方についての研究のため。			
宿泊地	出発年月日	帰省年月日	
東京都千代田区	令和 7 年 3 月 2 6 日	令和 7 年 3 月 2 6 日	

政 務 活 動 費 用

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	15,000 円
内 容	地方議員研究会主催の研修会受講料
目 的	病院関連質問で地域の医療を守る特別研修 必ず成果が出る質問の取り上げ方」に参加するため。
支 出 先	地方議員研究会
支 払 年 月 日	令和 7 年 3 月 25 日
その他特記事項 参加者・人数等) 仲亀恭平一名 3/26分 15,000円×1講座	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

# 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,830 円
内 容	地方議員研究会主催の研修会への旅費
目 的	病院関連質問で地域の医療を守る特別研修 (東京 2日目) 必ず成果が出る質問の取り上げ方」に参加するため。
支 出 先	仲亀恭平
支払年月日	令和 7 年 3 月 26 日
その他特記事項 (参加者・人数等)	仲亀恭平一名

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

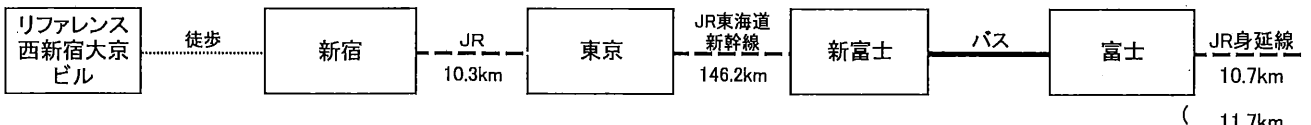
無会派  
(仲筆議員)

● 1 日 目 : 令 和 7 年 3 月 26 日 (水) 繁忙期

【研修】CKセミナー「必ず成果が出る質問の取り上げ方」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



バス	190	特 急 料 金	3,260
----	-----	------------------	-------



特 急 料 金	3,260	バス	190
------------------	-------	----	-----

富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	12,180 円	×	1 人	=	12,180 円	
	私 鉄	円		日 当	1,650 円 ×	1	日 ×	1	人 =
特 急 料 金	通 常	円							
	閑 散	円							
航空運賃	料 金	6,520 円	宿 泊 料	16,500 円 ×	0	夜 ×	1	人 =	0 円
	船 賃	円							
車 賃 ( バ ス )		380 円	旅 費 合 計	13,830 円/人	×	1	人 =	13,830 円	
1人往復運賃合計 A		12,180 円							

# 研修報告書

	会派名	無会派																		
研修年月日	令和7年3月26日 10:00~12:30																			
研修名	地方議員研究会「病院関連質問で地域の医療を守る特別研修」 必ず成果が出る質問の取り上げ方																			
参加者	仲亀恭平																			
研修内容	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"><b>研修の目的</b></div> <p>地域に必要な医療を公平に提供する自治体病院。一方でその病院経営に関してはどのようなになっているのかについては専門性が高く、わかりにくいものになっている。</p> <p>富士市議会では市立中央病院に対し、未取得であった診療報酬加算5項目に関して取得可能であると指摘した。調査の結果、5項目のうち4項目に関しては取得可能として、投資額を差引いた計1億2,450万円の収益に繋がった。</p> <p>今回の研修を通じて、富士宮市の自治体病院の経営状況を把握し、経営改善点、あるいは今後の病院の在り方を学ぶ。</p> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"><b>内容</b></div> <p><u>富士宮市の現状把握</u></p> <p>【富士宮市立病院医療体制状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr><td>一般許可病床</td><td style="text-align: center;">380床</td></tr> <tr><td>療養許可病床</td><td style="text-align: center;">0床</td></tr> <tr><td>DPC</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>地域医療支援病院</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>総合入院体制加算</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>急性期充実体制加算</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>精神科充実体制加算</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>在宅療養支援病院</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> <tr><td>在宅療養後方支援病院</td><td style="text-align: center;">×</td></tr> </table> <p>DPC 係数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、ほとんどの急性期病院の入院費は包括医療費支払い制度方式(DPC)を採用している。</li> <li>・DPCの係数は厚労省の目指す医療に誘導する意思をもって設定されている。</li> </ul>		一般許可病床	380床	療養許可病床	0床	DPC	○	地域医療支援病院	×	総合入院体制加算	×	急性期充実体制加算	×	精神科充実体制加算	×	在宅療養支援病院	×	在宅療養後方支援病院	×
一般許可病床	380床																			
療養許可病床	0床																			
DPC	○																			
地域医療支援病院	×																			
総合入院体制加算	×																			
急性期充実体制加算	×																			
精神科充実体制加算	×																			
在宅療養支援病院	×																			
在宅療養後方支援病院	×																			

【富士宮市立病院 経営指標】

病床数	380 床
看護単位	7 : 1
病床利用率	64.7%
1 日入院患者数	246 人
平均在院日数	11.4 日
1 日平均入院単価	¥59,867
1 日平均外来単価	¥25,406

【富士宮市手持ち現金・一時借入状況】

現金	一時借入金	長期企業債	短期企業債	企業債合計
¥1,474,659	¥0	¥1,439,326	¥201,372	¥1,640,698

所感

■富士宮市は取得可能な加算はすべて取得されていた。

医事課が急激に変わっていく診療報酬制度を理解し、DPC 調整係数に関して適切に適応しているといえる。優秀な医事課が富士宮市に存在することは、医療機関が良好な運営体制を築くことに繋がる。

■検診・健診の利用を後押しするようなきっかけ作りをできるかが、重要なポイントである。その内容を市民に対して十分に伝わっているのか。または、検診・健診に対する取り組み自体が認知されていても、実際に利用する方が少ないという課題はないのかを分析することが重要である。富士宮市は「人間ドック・脳ドック・40歳未満健診などの助成事業」を実施しているが、検診・健診の機会を提供するだけでなく、さまざまな健康増進・広報活動に取り組む必要がある。